

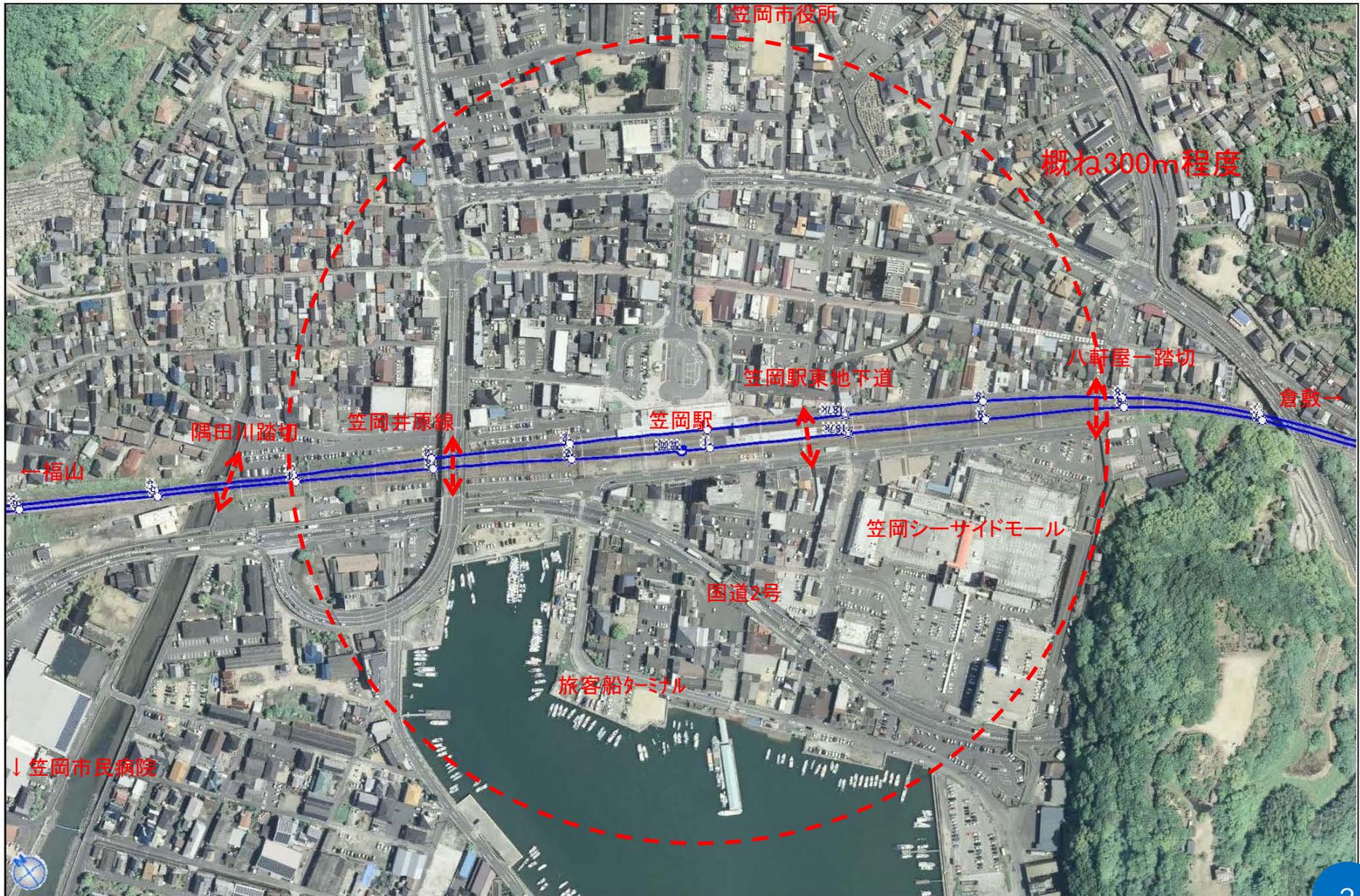
第1回 JR笠岡駅南北連絡施設等整備検討委員会 [現状と課題・課題に対する対応策]

笠岡市 建設部 都市計画課

平成30年9月5日

※本資料は、本委員会での検討を目的としたものであり、事業費や空間の制約を考慮せず検討したものであることに留意し、取扱いには、注意をお願いします。

笠岡駅の位置



笠岡駅及び駅周辺の位置づけ(上位計画)

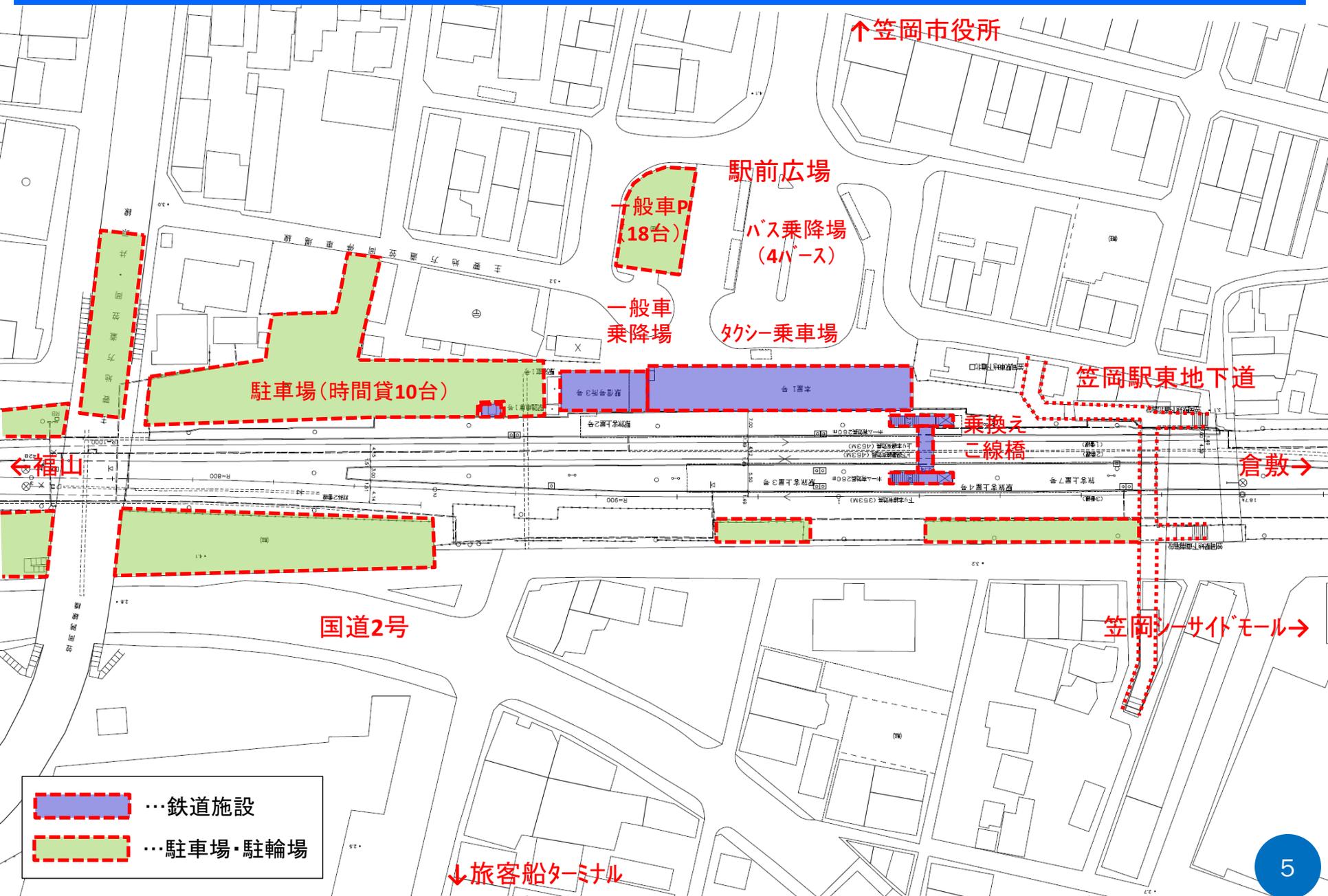
上位計画	策定年	概要
第7次総合計画 (笠岡市)	2018年	<ul style="list-style-type: none"> 魅力的で快適に暮らせる都市形成として「JR笠岡駅周辺整備基本構想」に基づく整備事業を実施し、JR笠岡駅と笠岡港(住吉地区)の連携強化を図り、公共交通利用者の利便性向上を図る、としている 利用しやすい公共交通システムの構築として、JR笠岡駅南側を中心とした駅周辺地区の整備を行い、交流人口の増加を図る、としている
笠岡市都市計画マスタープラン (笠岡市)	2015年	<ul style="list-style-type: none"> 全体構想においてJR笠岡駅周辺を「市の中核的な都市拠点」として、JR笠岡駅は「交通拠点」として人、モノ、情報の交流の結節点として位置付けられている
笠岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略 (笠岡市)	2015年	<ul style="list-style-type: none"> 基本目標「時代に合った特色ある地域をつくり、地域と地域の連携を進める」について、具体的な施策として「JR笠岡駅について計画的な整備を図り、拠点性を高めることで、中心市街地に賑わいを取り戻す」としている
JR笠岡駅周辺整備基本構想 (笠岡市)	2018年	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの第2段階(～2027年度)として、駅南北の接続性、駅周辺の回遊性、一体性を高めるため、笠岡駅整備事業(橋上化・自由通路等)や笠岡駅南口駅前広場整備事業、歴史的建築物活用促進事業等が挙げられている。

笠岡駅の概要

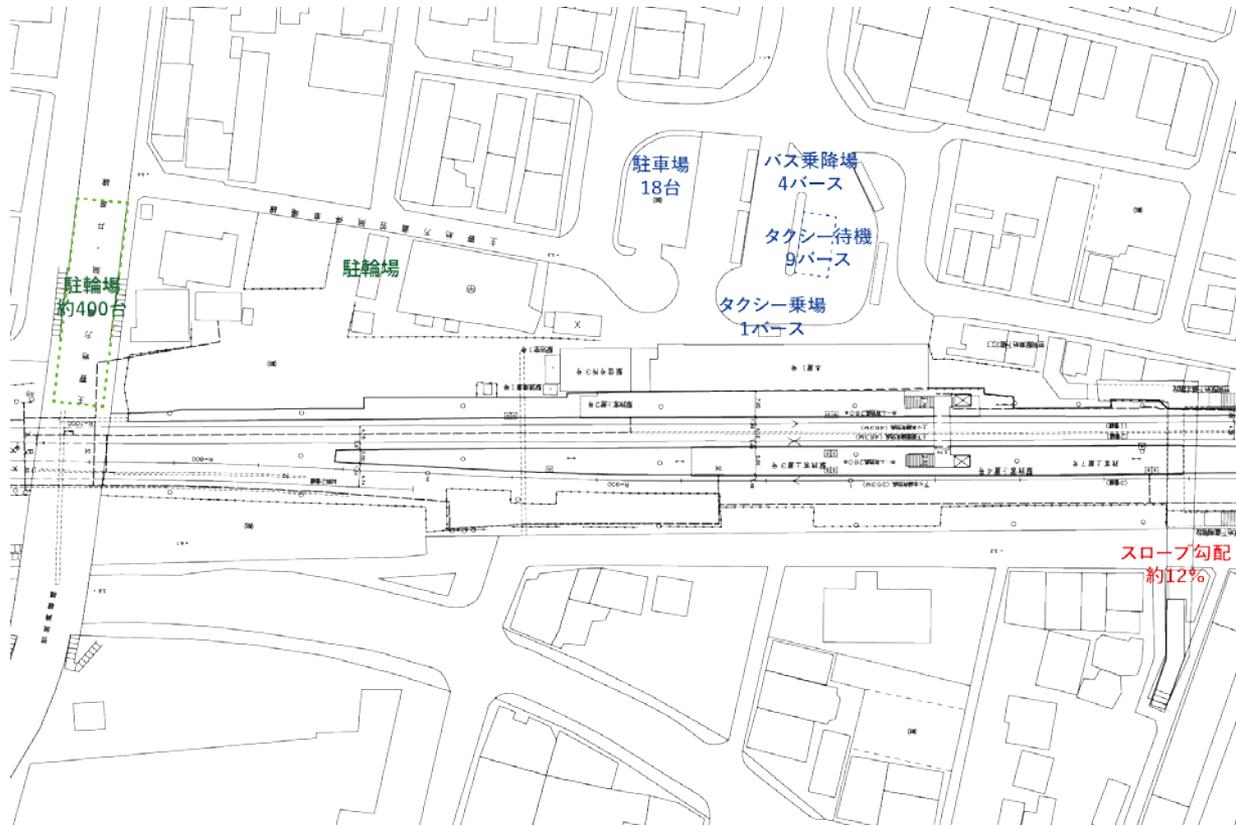
項目		概要
駅 施設	構造/ホーム/駅舎	地平駅/2面3線/平屋
	ホーム間の連絡	こ線橋(バリアフリー対応済)
	改札口・出入口	北側のみ
営業 情報	乗車人員(2016年度)	3,692人/日(定期率67%)
	停車列車	普通・快速列車
	運行本数	(平日)上り69本、下り70本 (休日)上り67本、下り68本
	駅員	有人(直営駅)
	機器設置台数	改札：3台/券売機：3台/精算機：1台(ICOCA対応済み)
駅前 広場 (北側)	駅前広場・面積	約5,200㎡
	バス乗場	4バース
	タクシー乗車場	1バース
	タクシー待機場	9バース
	一般車	約2バース(明確な区分なし)
	駐車場	18台(市営)
	駐輪場	約400台(市管理)



笠岡駅及び駅周辺



笠岡駅周辺の現状



駅前広場(タクシー乗場)



八軒屋一踏切



駅南側道路



駅東地下道(バリアフリー未対応)



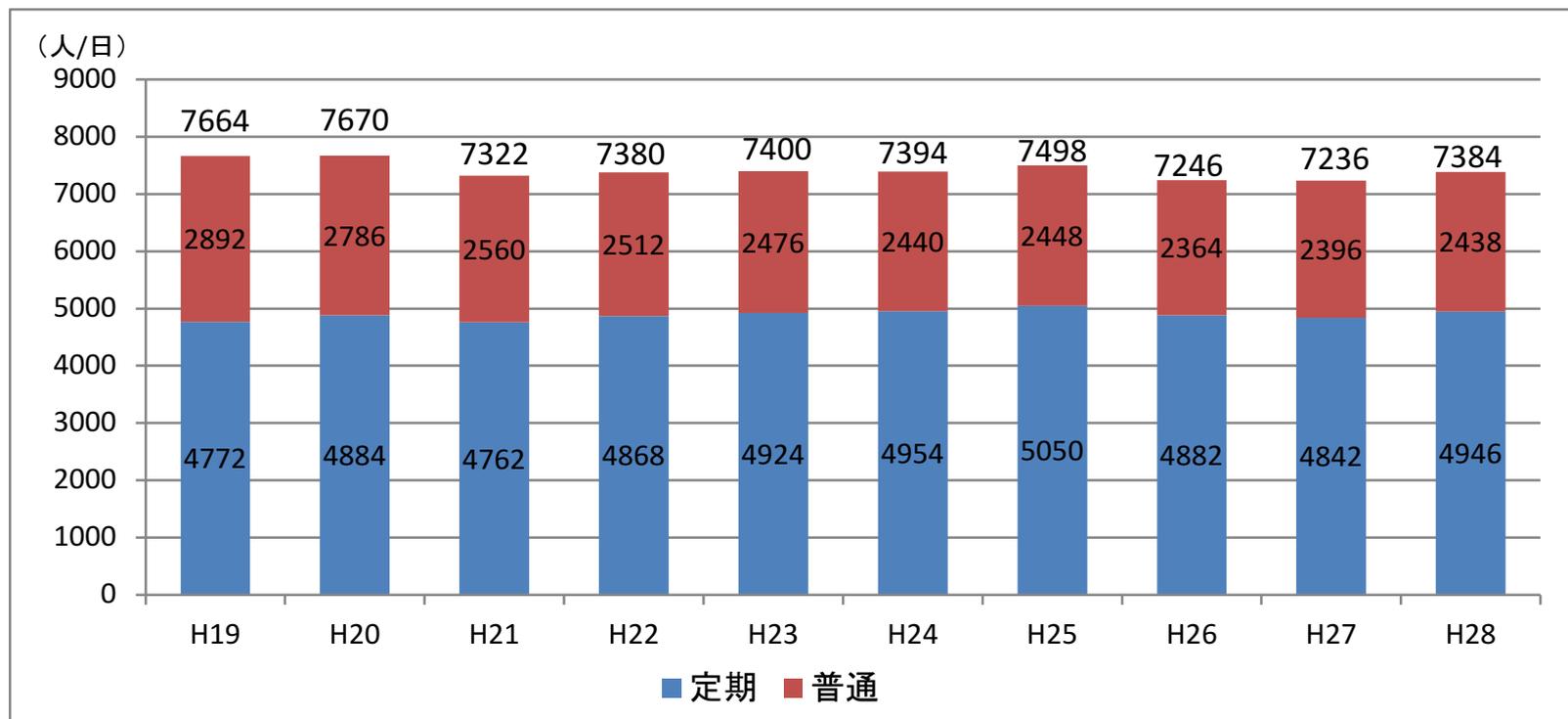
駅東地下道出入口



JR笠岡駅の利用状況

- ・福山市と笠岡市とは山陽本線で連絡されており、連絡時間(福山駅～笠岡駅)は約14分となっている
- ・笠岡駅の乗降客数は1日約7400人でH21年以降はほぼ横ばい傾向にある。
- ・定期率は67%を占めている

笠岡駅の乗降人員の推移

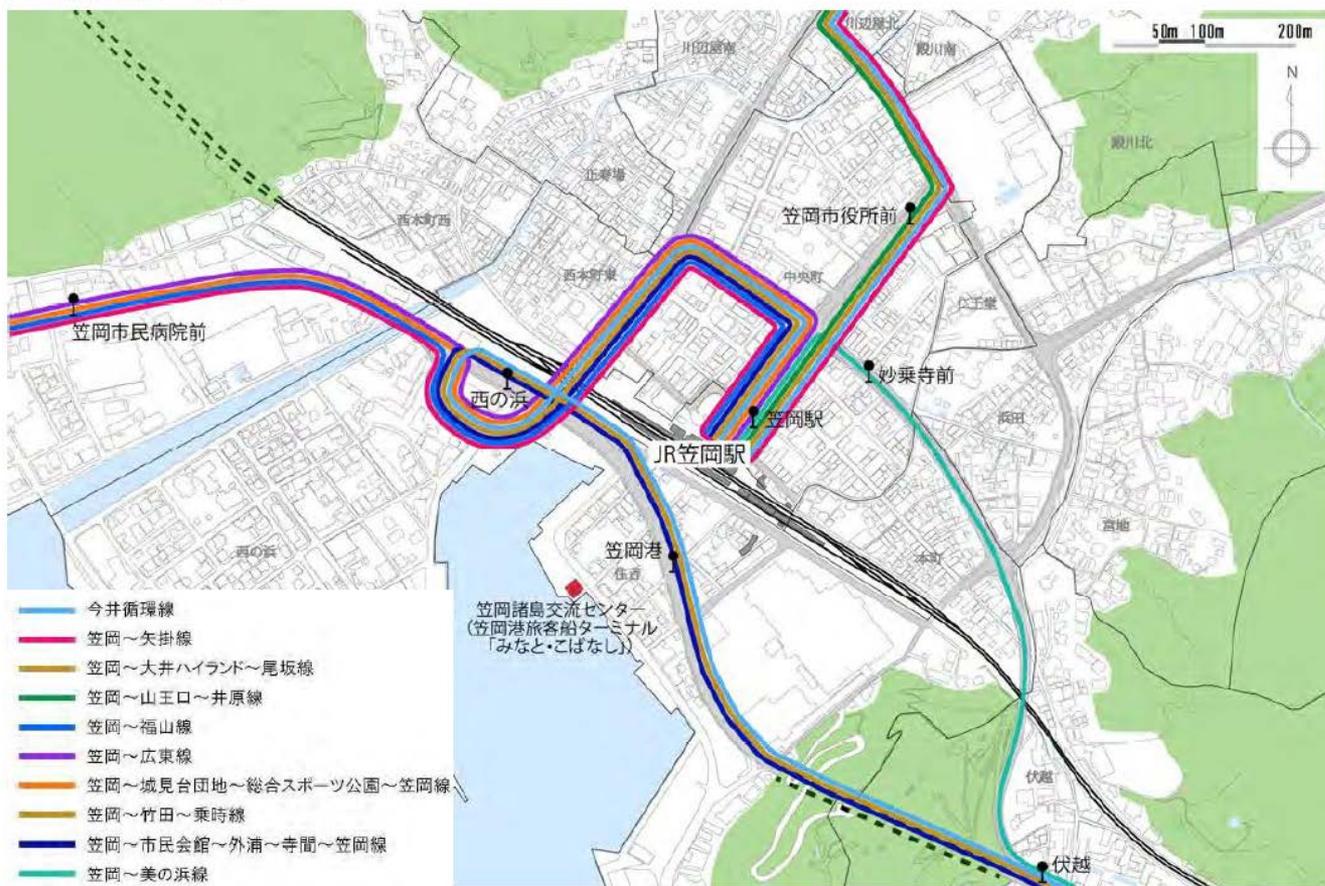


資料:岡山県統計年報より

バス運行ルート

- ・ 笠岡駅を発着するバスは10路線・90便/日
- ・ うち、駅を発着し、県道笠岡井原線を経由して国道2号で東西に向かう路線は、5路線18便

■バス運行ルート図



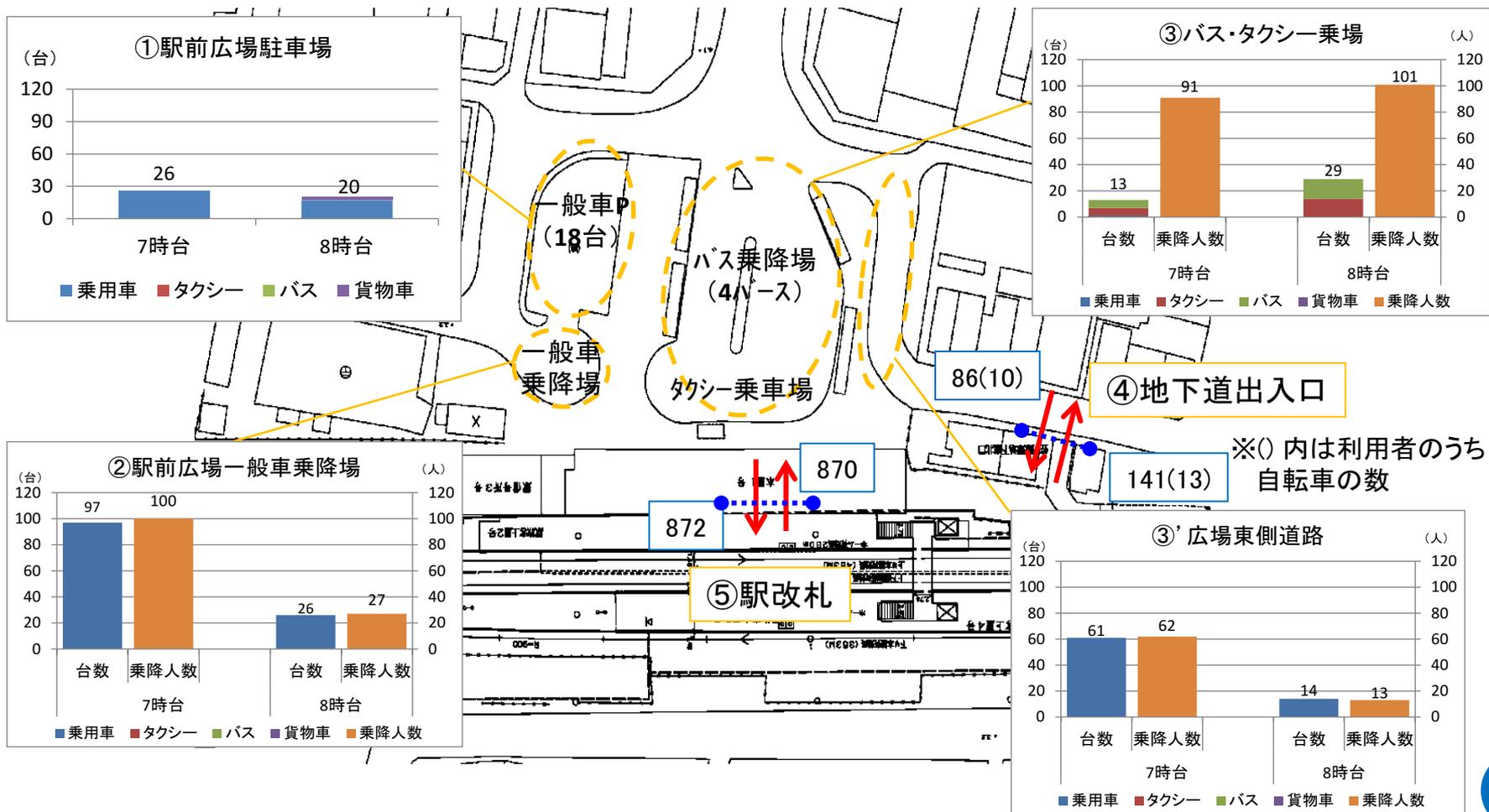
■バスの運行状況（笠岡駅）

方面	平日	土	日・祝
	総本数 運行時間帯	総本数 運行時間帯	総本数 運行時間帯
今井循環線	3本 8~12	2本 8~12	—
笠岡～矢掛線	16本 6~19	10本 7~18	9本 8~18
笠岡～大井ハイランド～ 尾坂線	16本 6~19	10本 7~18	9本 8~18
笠岡～山王口～井原線	22本 7~21	13本 7~19	13本 7~19
笠岡～福山線	4本 9~17	3本 9~17	3本 9~17
笠岡～広東線	2本 11~16	2本 14~16	2本 14~16
笠岡～城見台団地～総合 スポーツ公園～笠岡線	4本 8~15	2本 8~15	2本 8~15
笠岡～竹田 ～乗時線	4本 8~16	2本 10~15	—
笠岡～市民会館～外浦～ 寺間～笠岡線	4本 9~17	4本 9~17	4本 9~17
笠岡～美の浜線	15本 7~20	14本 7~18	13本 7~18

出典：井笠バスカンパニーHP（H30.1現在）

駅前広場の利用状況

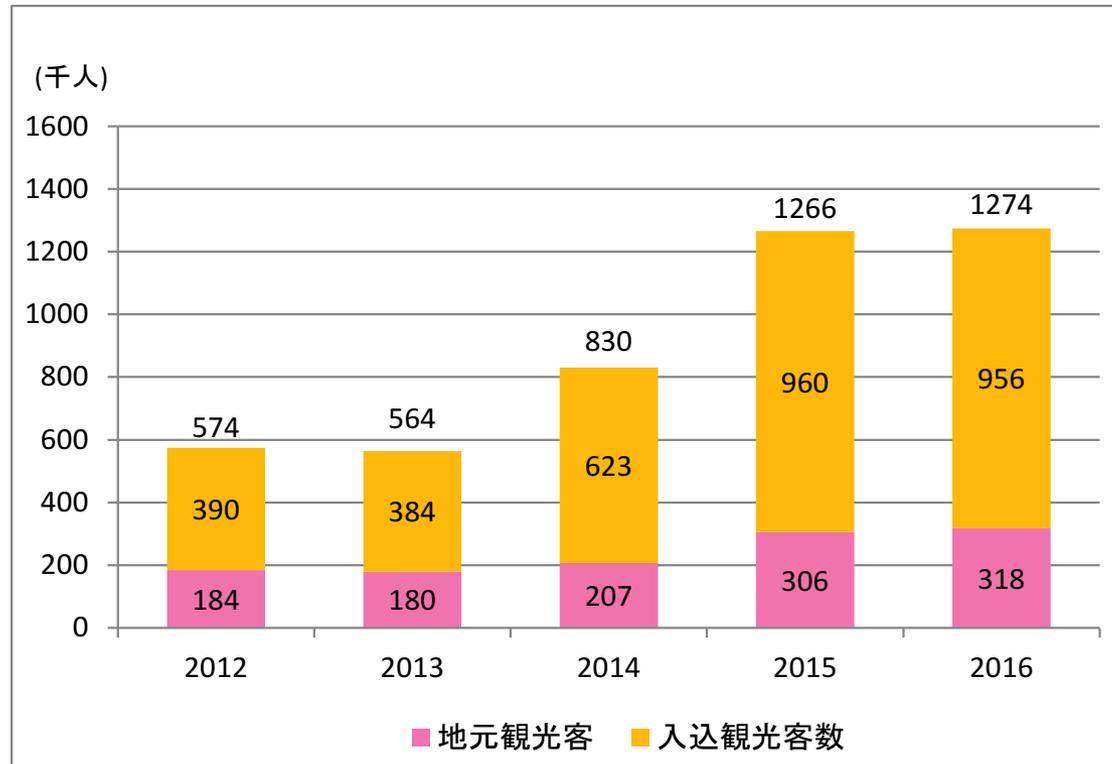
- ・駅前広場の乗降場発着台数及び乗降人数調査、歩行者・自転車通行量調査を、7月18日(水) 7:00~9:00に実施した
- ・広場内での混雑は見られなかったものの、広場東側などの道路上で乗降のための停車があり(地点③)、通行車両の一時的な滞留が見られた。



観光客数の推移

- ・笠岡市の観光客数は増加傾向にあり、観光入込客数は2016年で年間約96万人となっている。2012年と比較すると、約56万人増加している。
- ・笠岡諸島は現在日本遺産登録の認定に向けた取り組みが進められており、さらなる交流人口の増加が期待される

笠岡市観光客数の推移

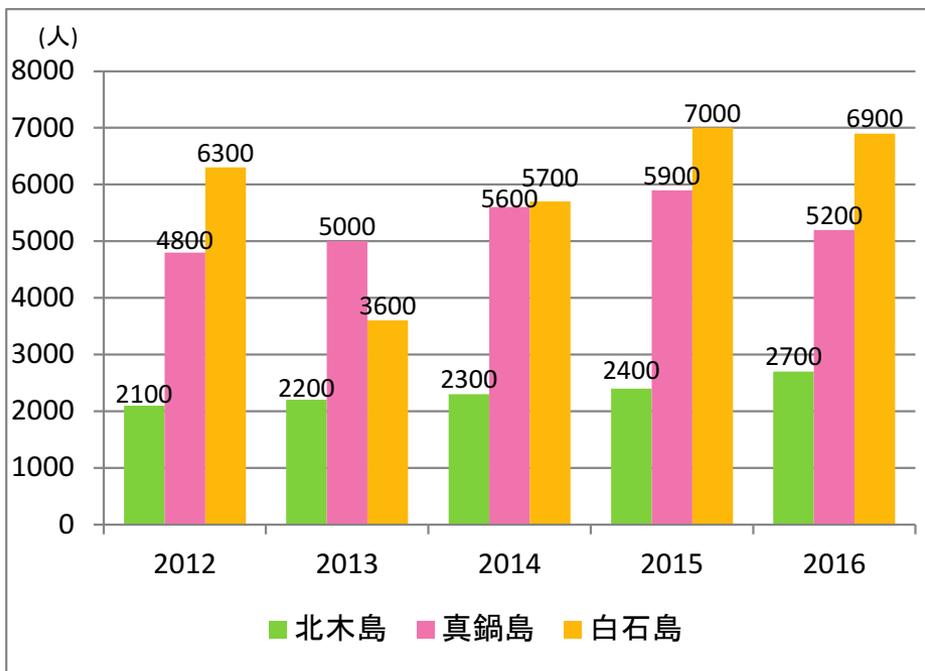


資料：H29統計かさおかより

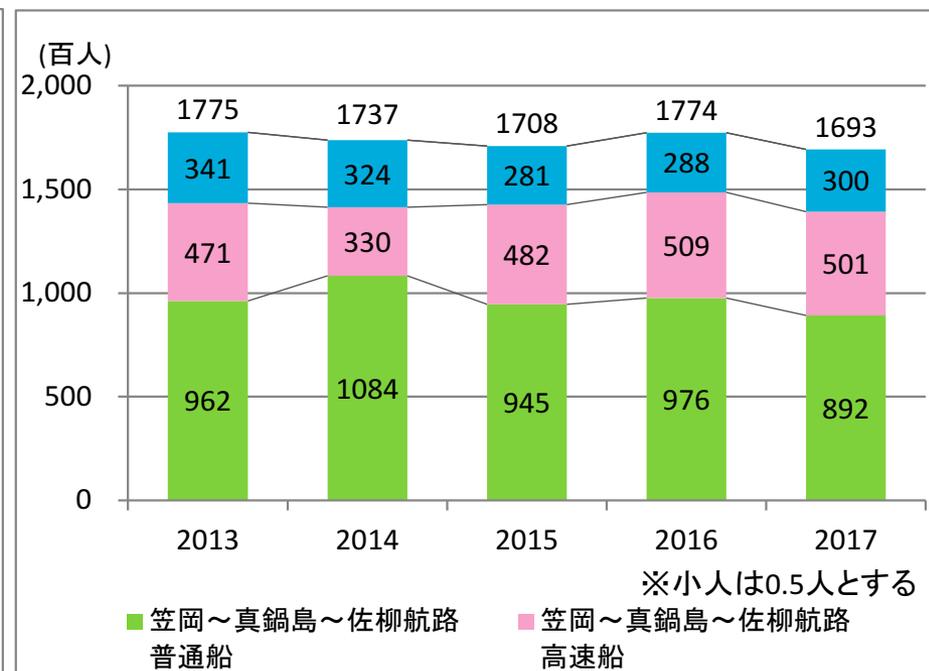
笠岡港(三洋汽船)利用者数の推移

- ・笠岡港(三洋汽船)の利用客数は、2017年で年間約17万人(1日当たり約470人)
- ・笠岡諸島への観光客数は増加傾向にあり、島しょ部では人口減少しているものの、全体の利用者数はほぼ横ばい傾向となっている

笠岡諸島観光入込客数の推移



笠岡港(三洋汽船)利用者数の推移

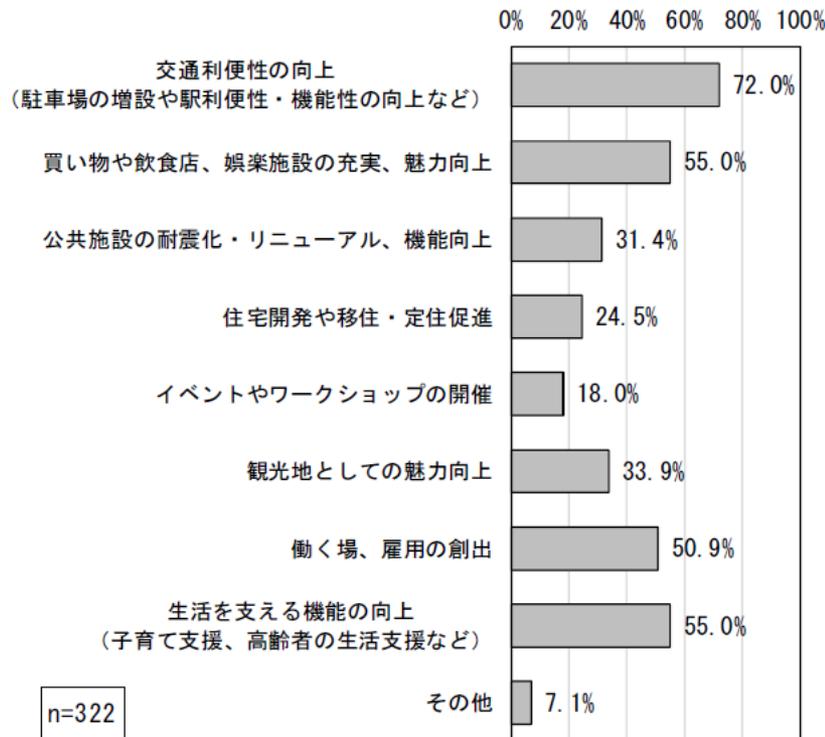


資料: H29統計かさおかより

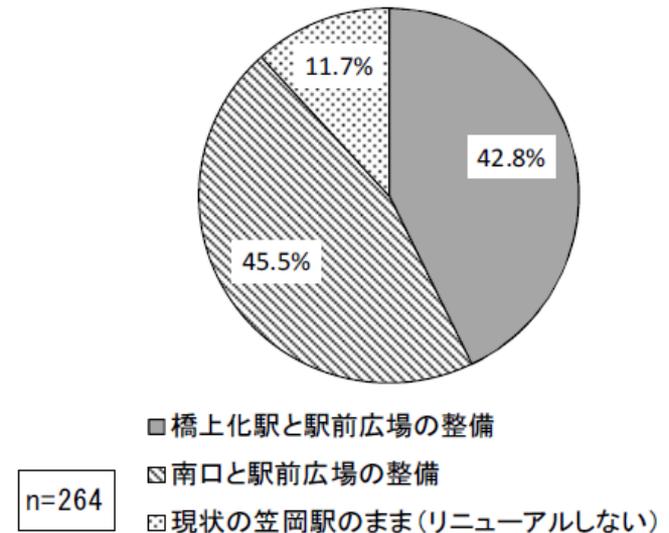
市民意向

- ・本エリアで重視してほしい都市機能としては「交通利便性の向上」が70%強を占め、次いで「買い物や飲食店、娯楽施設の充実、魅力向上」「生活を支える機能の向上(子育て支援、高齢者の生活支援)」が挙げられた。
- ・JR笠岡駅のリニューアルに対しては整備を望む意見が90%近くを占め、「橋上化駅と駅前広場の整備」と「南口と駅前広場の整備」が概ね同程度となっている。

【本エリアで重視してほしい都市機能】



【駅の整備について】



笠岡駅周辺の主な課題と対応策

	問題点・課題	対応策・理想の姿
<p>駅舎 RC造2階建て</p> <p>ホーム2面3線 (バリアフリー対応済)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 駅舎は北側のみで南側からのアクセスが悪い • 笠岡市の玄関口としての景観に乏しい • こ線橋が老朽化している 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 南口改札の設置 ◆ 駅舎等の改良
<p>北口広場 (約5400㎡)</p> <p>バス 乗降 4バス</p> <p>タクシー 乗車 1バス 待機 7バス</p> <p>一般車 駐車場18台 降車 2バス</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 駅前広場は北側のみだが、広域道路である国道2号は南側にある(西ノ浜交差点経由で駅に至るまでに5分程度のロスが生じる) • バス・タクシーと一般車の分離がなされているが一般車の乗降バースが2バース程度であり、ピーク時には広場外での一般車の乗降や渋滞が見られる • 駐車場は広場内18台(時間貸)の他、駅西側に約160台あり(月極駐車場が約9割) • 駐輪場は駅西から約200m離れた位置に約400台。駅近くには民間駐輪場あり。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 南口広場の整備 ◆ 南口からのアクセス改善 ◆ 北口広場の再整備 ◆ 駐車場の整備 ◆ 駐輪場の整備

笠岡駅周辺の主な課題と対応策

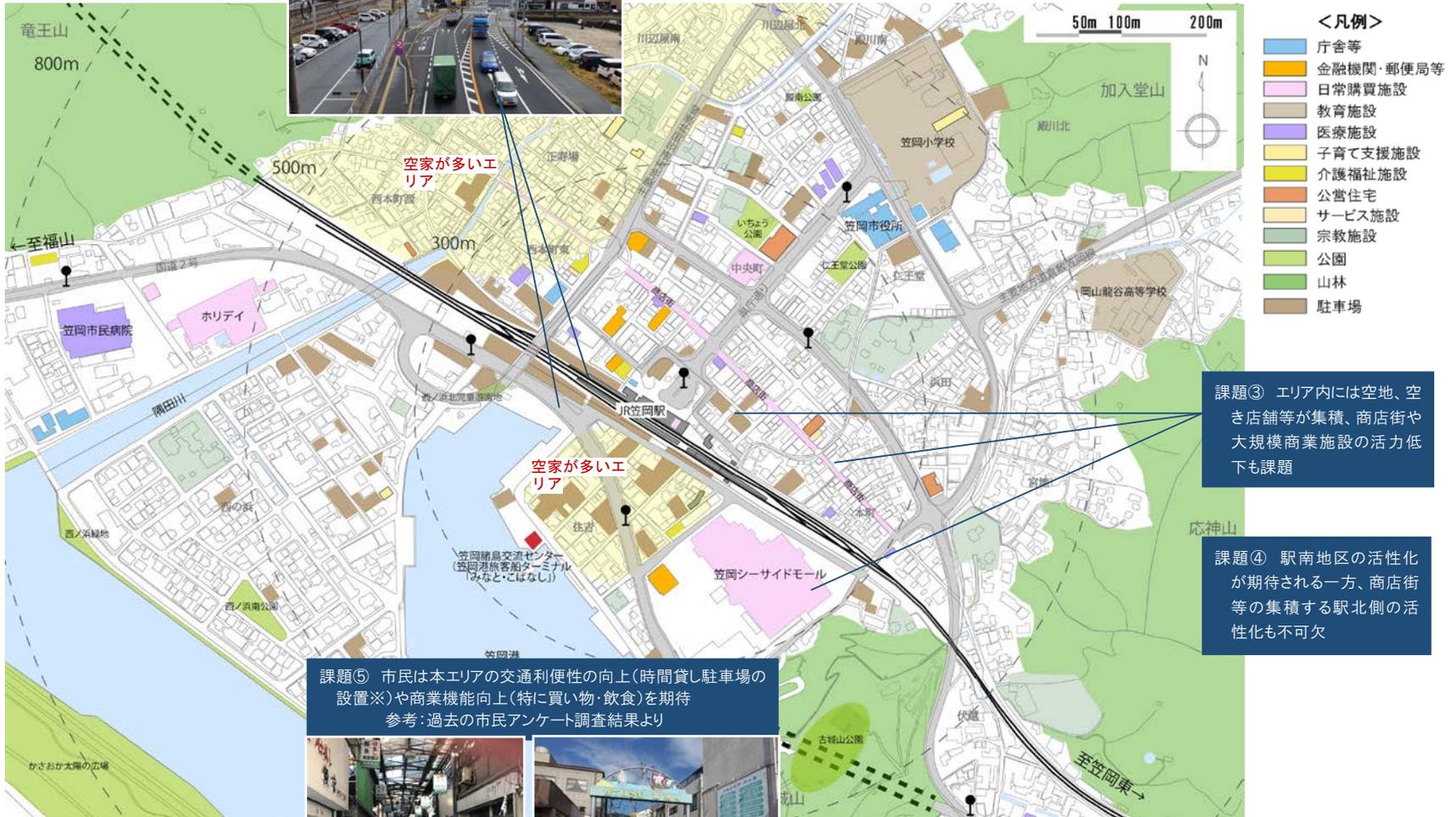
	問題点・課題	対応策・理想の姿
駅周辺	<ul style="list-style-type: none"> • 駅を挟んだ南北市街地がJR山陽本線、国道2号線によって分断されている(横断箇所は地下道、踏切等の3箇所に限られ迂回が必要) • 駅から東約60mにある地下道はバリアフリー基準を満たしていない(勾配12%(基準は5%以下))うえに防犯面等に不安がある • 駅から港への乗り換え動線が分かりづらい(特に観光客) • 市民病院、笠岡シーサイドモール等の主要施設は駅南側に立地している • 駅周辺には月極駐車場は多数立地しているが時間貸駐車場が不足している 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 南北自由通路の整備 ◆ 東地下道のバリアフリー化 ◆ 周辺施設への動線整備 ◆ 駐車場の整備
その他	<ul style="list-style-type: none"> • 商店街や大規模商業施設の活力が低下している • 駅周辺を含む市全体の人口減少、高齢化が進んでいる • 空地、空き店舗が増加傾向にある 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 各種まちづくり事業の推進 ◆ 官民連携事業等の模索

笠岡駅及び駅周辺の課題まとめ

課題① 駅を挟んだ南北は、JR山陽本線、国道2号によって分断されている



課題② 市全体の人口減少、少子高齢化等への対応として、市中心の本エリアにおいて、雇用創出、定住促進、魅力発信が期待される



<凡例>

- 庁舎等
- 金融機関・郵便局等
- 日常購買施設
- 教育施設
- 医療施設
- 子育て支援施設
- 介護福祉施設
- 公営住宅
- サービス施設
- 宗教施設
- 公園
- 山林
- 駐車場

課題③ エリア内には空地、空き店舗等が集積、商店街や大規模商業施設の活力低下も課題

課題④ 駅南地区の活性化が期待される一方、商店街等の集積する駅北側の活性化も不可欠

課題⑤ 市民は本エリアの交通利便性の向上(時間貸し駐車場の設置※)や商業機能向上(特に買い物・飲食)を期待
参考:過去の市民アンケート調査結果より



※エリア内には多数の駐車場があるが、次頁に示すとおり、月極め駐車場・施設用駐車場がほとんどで、時間貸し駐車場は少ない

資料: JR笠岡駅周辺整備基本構想より

笠岡駅及び駅周辺の整備方針(案)

<課題>

- ・鉄道や国道2号により南北市街地が分断されている(横断箇所は踏切や地下道等の3箇所に限られ迂回が必要である)
- ・広域道路ネットワークである国道2号のある駅南側から駅へのアクセスが悪い(西ノ浜交差点経由で駅に至るまでに5分程度のロスが生じる)
- ・駅前広場が北側のみであることと、一般車乗降機能が不足していることにより、ピーク時を中心に一般車の送迎車が駅前広場及び周辺道路まであふれている
- ・駅から港への動線が分かりにくく、特に観光客には乗り継ぎ利便性が低い
- ・駅周辺は人口減少高齢化等により空き家や空地等が目立ち、商店街等の賑わいも欠け、地域活力が低下している



<整備方針(案)>

◎南北市街地の分断解消

- 南北自由通路の整備
- デッキの整備

◎南口からのアクセス改善

- 駅施設の整備・改良
- 南口改札の新設

◎交通結節機能の強化

- 南口広場の整備
- 北口広場の再整備

◎駅と港・商店街等との連携強化

- 歩行者動線の整備
- バス路線の検討

◎駅周辺のにぎわい創出、地域情報発信

- 各種街づくり事業の推進(別途)
- 官民連携事業等の模索

笠岡駅及び駅周辺の整備方針(案)

